

新しい書写

2年度
小学校
内容解説資料



表紙のご紹介

文字の世界を舞台に、子供たちが言葉を交わしながら力を合わせて文字を作っていく様子を、かわいらしいイラストで表現しました。完成した文字が裏表紙に現れます。

○著作関係者

- 代表 平形 精逸 静岡大学名誉教授
- 青山 浩之 横浜国立大学教授
- 東 明彦 元兵庫県丹波市立春日中学校校長
- 石井 健 東京学芸大学准教授
- 板橋美智恵 神奈川県横浜市立福荷台小学校校長
- 植村 仁 大阪府大阪市立美小学校校長
- 押木 秀樹 上越教育大学教授
- 岡田 充弘 中村学園大学講師
- 小比賀昭治 香川県三木町立立平井小学校教諭
- 金丸 典子 東京都八王子市立長沼小学校教諭
- 菅野 智明 筑波大学教授
- 見城 正訓 静岡大学非常勤講師
- 齋木 久美 茨城大学教授
- 佐々木直子 東京都目黒区立東山小学校校長
- 杉崎 哲子 静岡大学教授
- 竹上 精一 香川県高松市立多肥小学校教頭
- 千々岩弘一 鹿児島国際大学教授
- 藤田 剛志 香川県高松市立新番丁小学校教諭
- 本間 貞二 元福島県福島市立東湯野小学校校長
- 松清 秀一 鹿児島大学名誉教授
- 宮崎 葵光 奈良教育大学名誉教授
- 和田 圭壮 福岡教育大学教授

特別支援教育に関する機関
海津亜希子 国立特別支援教育総合研究所主任研究員
東京書籍株式会社

色彩デザインに関する編集協力
色覚問題研究グループはぼすてる



東書Eネットの特集ページでもご紹介しています。こちらからご覧ください。
<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/shosha/>

東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel: 03-5390-7358 (書写編集部) Fax: 03-5390-7350
支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7581 名古屋 052-939-2722
大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770 那覇 098-834-8084
ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>

豊かな学びが未来を拓く

子 供たちが未来を生きる姿を想像してみましょう。科学や技術
を生活に生かし、暮らしや社会を豊かに創造していく子供た
ち。歴史や文化を踏まえ、新しい時代を築き上げていく子供たち。
そんな子供たち一人一人の夢を支えていきたい。そして、**未来を**
切り拓く力を大切に育んでいきたい。

子供たちの未来を支える力の一つが言葉の力であり、文字を書く
力だと考えます。豊かに社会に参加するために、思考し、記述し、
伝え合う。文字はそうした場で子供たちを支えます。**効果的に文**
字を書き、人とつながり合う力を書写で育む。書写学習の意味
を考えると、それは私たちの共通な願いとなるのではないでしょ
うか。

東京書籍『新しい書写』では、子供たちが「書写のかぎ」を探しなが
ら、文字を書く原理・原則を身につけていきます。発見した「かぎ」は、

実際に書いて確かめる中で知識・技能として定着し、それらを他の
文字や実際に書く活動の中へと溶け込ませることで、一人一人が確実
に活用できる力としていきます。文字への関心や、自分の文字が変
わる楽しさを通して、文字でつながり合う喜びや大切さを知った、
文字文化の担い手を育みます。

豊かな書写の学びで、子供たちの未来を拓く。「新しい書写」は、
全国の先生方といっしょに、そんな大きな一歩を踏み出すための教
科書です。



青山 浩之 「麗字・文」

愛知県の生まれ。横浜国立大学教授。『新
しい書写』教科書編集委員。書写・書道教
育に関する研究や教員育成に従事。『小学
校書写 指導のアイデア&授業モデル』
(明治図書)など著書多数。

『新しい書写』がめざすもの

① 文字の整え方が分かる教科書

▼P2・4・6へ 知識と技能が身につきます。

② 日常の文字に生きる教科書

▼P8・10へ 思考力・判断力・表現力が育ちます。

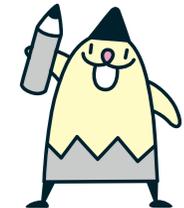
③ 書くことが楽しくなる教科書

▼P12・16・18へ 学びに向かう力が養われます。



はじめまして。

新しい学びを作る基本単元です。



文字を整えて書く「原理・原則」

1 書写のかぎ

同じ方向の画が二つ以上あるときは、その一つを 書く。

同じ方向の画が三つ以上あるときは、画の間かくを くらいの広さにあける。

43 一〜四年まで学習する「書写のかぎ」でたしかめよう。

2 画の長さの間かく

それぞれの文字の、画の長さや画の間かくがどうなっているか考えましょう。

「三・山」のように、線や○を書き入れましょう。

3 応用

振り返り

ふり返って話そう

書写のかぎ

画の長さの間かくについて、書くときに気をつけたことを話し合います。

「点」や「はらい」の場合も、画の間かくをそろえて書こう。

点家

長く書く画はどれか、どの間かくをそろえるか、考えて書きましょう。

2 確認

たしかめよう

見つけた「書写のかぎ」を、毛筆でたしかめてみましょう。

点画の長さ 点画の間かく 点画の方向

学習にあたって | 毛筆の教材文字は128%に拡大すると、半紙に書いたときの原寸大になります。 |

4年P10・11



128%拡大でぴったり半紙大！

書写のかぎ

6 しせい・持ち方

始筆・送筆・終筆

横画

たて画

左はらい

右はらい

点

折れ

反り

曲がり

折れ・折り返し

結び

筆順

点画のつながり

書く速さ

外形

点画の長さ

点画の間かく

43 点画の方向

点画のせし方

点画の交わり方

組み立て方

文字の中心

行の中心

文字の大きさ

字間・行間

筆記具と用紙

11

5

「書写のかぎ」インデックスで、学習事項と既習事項が一目で分かる！

DMARK

デジタルコンテンツを活用できる！

(→20ページ参照)

この教科書を使った授業の流れをご紹介します。

「お手本をよく見て書いて書こうね」が 書写の授業ではないんです。

文字を整えて書くためには、理解しておくべき「**原理・原則**」があります。

東京書籍の『新しい書写』では、その「**原理・原則**」を「**書写のかぎ**」と名付け、系統立てて各単元に配しました。「書写のかぎ」を見つけたら↓「**確かめる**」↓「**生かす**」ことで、書写の知識・技能の定着を図ります。

書写のかぎ

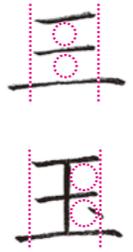
「何を学ぶの？」を明確にした「書写のかぎ」

原則として一単元の一つの「書写のかぎ」を配置し、単元のねらいを焦点化しました。「書写のかぎ」を単元の核として、知識・技能の習得、活用を組み合わせた**課題解決型の単元展開**になっています。



書写のかぎを「見つけよう」

身近な硬筆の文字から課題を見出し、文字を整えて書くための**原理・原則**（「書写のかぎ」）を見つける。|| 「**主体的な学び**」への導き



自分が書く文字はどうなっているかな。



書写のかぎを「確かめよう」

見つけた「書写のかぎ」を、実際に書くことで**確かめ**、理解を深める。

毛筆で大きく書くと分かりやすいよ。



振り返って話そう

自己評価だけでなく、対話することで理解を**確かめ**、振り返りを深める。|| 「**対話的な学び**」への導き

同じ方向の画が二つ以上あるときは、一つだけ長く書くことが分かったよ。

画の間隔も同じにそろえると整ったね。

私の名前にある「青」も、同じ「書写のかぎ」を使って書けるね。



書写のかぎを「生かそう」

「書写のかぎ」を、ほかの文字にどのように生かせばよいのか考えて書く。|| 「**深い学び**」への導き

書写のかぎを生かして書ける文字って、たくさんあるんだ！



生活に 広げよう

書写のかぎを「生活に広げよう」

これまでに習得してきた「書写のかぎ」を使って、他教科の学習や生活の中の具体的な場面で、複合的な視点で文字や文字群を整えて書く。

|| **思考力・判断力・表現力**の育成

(→8ページ参照)

生活の中に広がっていくよ。



知識及び技能

思考力、
判断力、表現力等

学びに向かう力、
人間性等

主体的・対話的で
深い学び

見方・考え方
資質・能力

学習過程の
明確化

学習の系統性の
重視

国語との連携

文字文化

特別支援教育

ユニバーサル
デザイン

幼小接続

スタート
カリキュラム

小中接続

カリキュラム
マネジメント

他教科との関連

教科横断的に
取り組む課題

授業支援

ICT 活用
デジタルコンテンツ

デジタル教科書

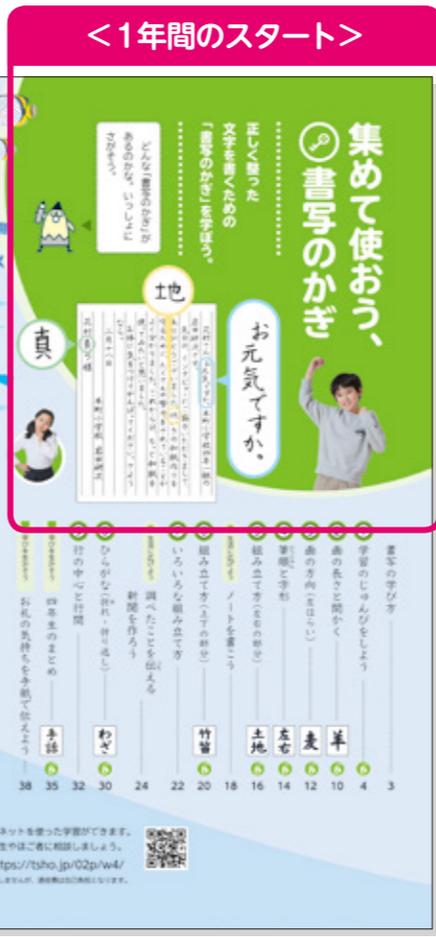
教師用指導書

書写の授業でも、「主体的・対話的で深い学び」ができています。

書写では、何をどのようになんでいくのか。子供たちが自身が学習内容や学習過程について見通しをもち理解することが、主体的な学びにつながります。また、随時、協動的な活動を促し、対話的な学びができるように構成しました。

一年間の学びを見通すイラストマップ

一年間の学習を、「書写のかぎ」を集めながら進む旅に見立てました。「書写でどんなことを学ぶんだろう」「一年後にはどんな文字が書けるようになるだろう」。見通しをもつことで、主体的に学ぼうとする意欲を引き出します。



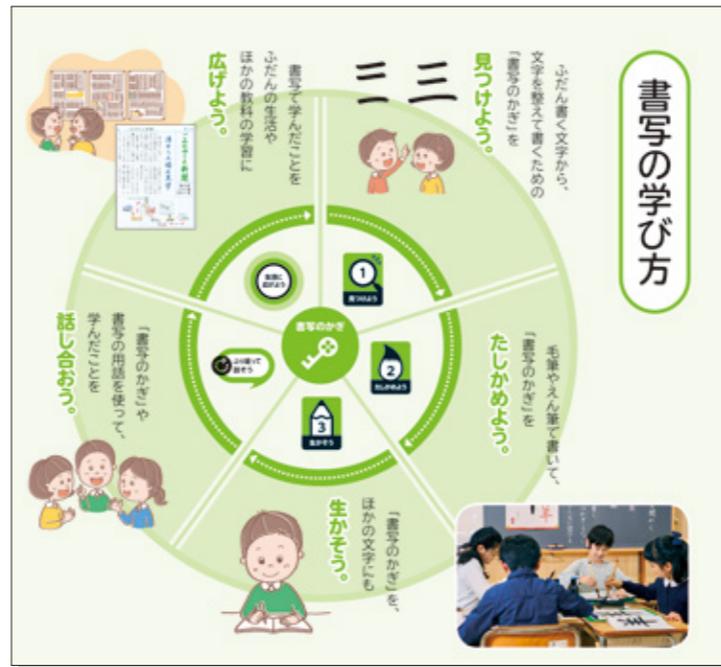
4年巻頭折り込み



前学年の学習内容

「書写の学び方」を学ぶ意味

学習過程を理解することで、目的やねらいを明確に捉えた、質の高い学習活動が行えるようになります。



4年 P3

対話的な学びを実現する工夫

単元末の評価「ふり返って話そう」をはじめ、友達と話し合う活動を随所に取り入れました。学んだことを言葉で整理することで、生きて働く知識・技能として落とし込めるようにしています。



6年 P34

「深い学び」を促す活用単元

基本単元で身につけた知識・技能をどのように使えばより伝わりやすい文字が書けるか。そこに**思考力・判断力・表現力**が必要となります。次のページからは、実の場で「書写のかぎ」を活用することで、書写の学びを深めていくポイントを紹介しします。

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

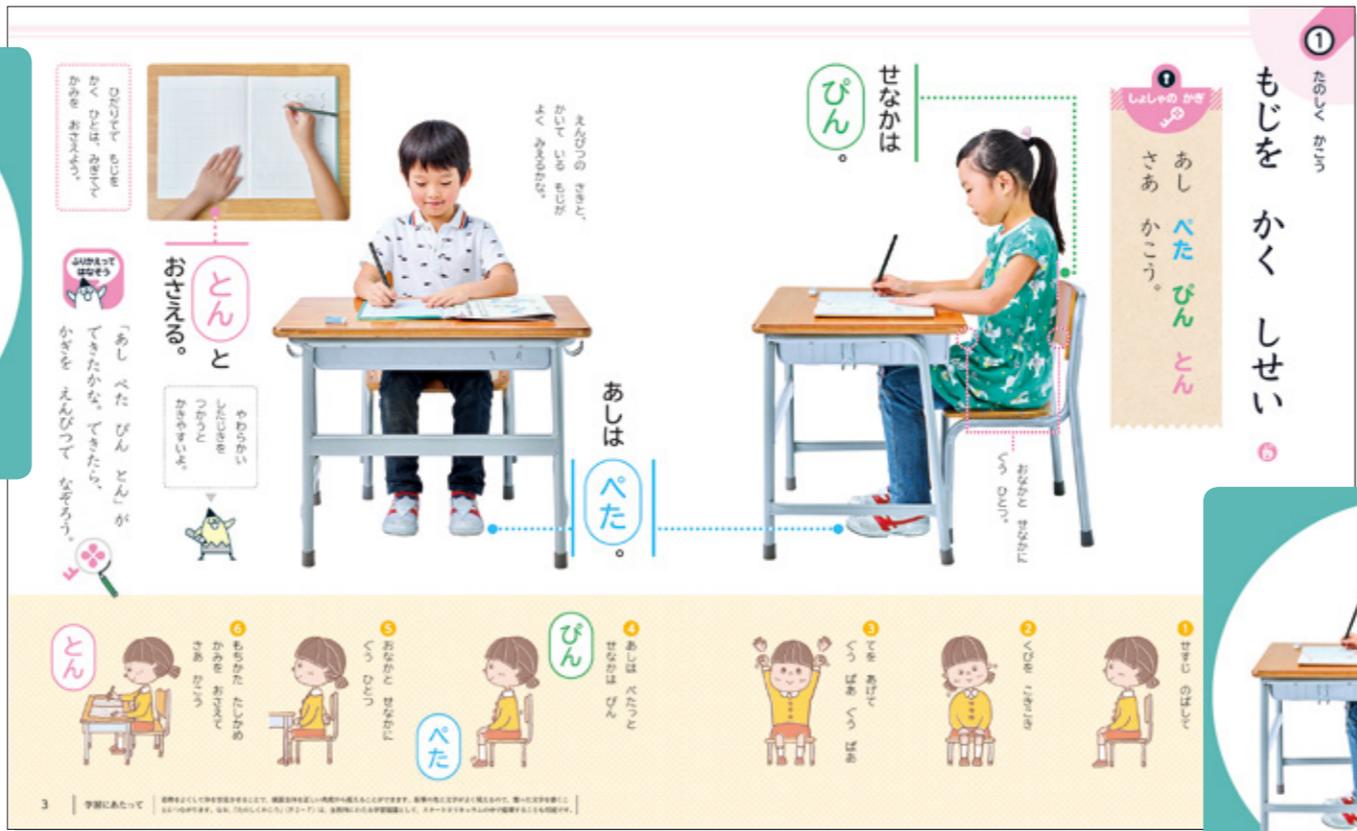
国語の学びを支える。

書写のねらいである「文字を正しく整えて書くこと」は、**国語の学びを支える基盤**でもあります。国語と連動して学習することによって、より効果があがるように工夫しました。

国語の教科書と同じ写真や文字を使用

全ての学習の基盤となる書くときの姿勢や筆記具の持ち方については、**スタートカリキュラムに効果的に組み込める**ように、国語の教科書と同じ写真を使用しています。国語・書写どちらの時間でも指導ができます。また、書き文字も同一執筆者によるもので、**字形の差異による混乱が起らないよう配慮**しています。

国語の教科書
1年上 P16



1年 P2-3



国語の教科書
1年上 P17

	国語と関連する教材文	国語と関連する題材や言語活動
1年	「花さかじいさん」の歌 (P35) 「スイミー」 (P43)	かん字のはなし (P34) できるようになったよ (P44・原稿用紙)
2年	「いろは歌」 (P31) 「かさこじぞう」 (P37)	かん字のなりたち (P30) 「ありがとう」をつたえよう (P38・手紙)
3年	俳句 (P36) 「モチモチの木」 (P38)	原稿用紙に書こう (P20・原稿用紙) はがきでつたえよう (P40・はがき)
4年	百人一首 (P34) 「世界一美しいぼくの村」 (P36)	ノートを書こう (P18・ノート、簡条書き) 調べたことを伝える新聞を作ろう (P24・新聞) お礼の気持ちを手紙で伝えよう (P38・手紙)
5年	「竹取物語」・「おくのほそ道」 (P26) 俳句 (P31・小筆) 「枕草子」 (P32) 「大造じいさんとがん」 (P34)	目的に合った筆記具 (P16・ポスター、案内状) 分かりやすく効果的に伝える書き方 (P22・ポスター) 委員会活動を伝えるリーフレットを作ろう (P24・リーフレット)
6年	漢詩「春暁」 (P26) 「海のいのち」 (P31・小筆) 漢文「論語」 (P32) 「君たちに伝えたいこと」 (P34)	書く速さ (P14・メモ) インタビューのメモを取ろう (P16・メモ) 発表のためのポスターを書こう (P24・ポスターセッション用資料) 書写展覧会を開こう (P36・色紙、短冊など)



5年 P24-25

各学年で、国語の教科書で扱う教材文や言語活動を取り上げています。国語の学習事項を配慮した内容となっているので、**国語の授業と合わせた効率的な指導も可能**です。

国語の教科書と関連して学べる教材

語彙を豊かにする文字

平仮名・片仮名の学習では、教材文字を含む言葉をイラストとともに提示し、**語彙指導の充実**を図ります。一方で、子供が書く文字は単元の目標に沿った単体の文字とし、**ねらいを焦点化して学習**できるようにしました。



1年 P13



- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の 明確化
- 学習の系統性の 重視

国語との連携

- 文字文化
- 特別支援教育

ユニバーサルデザイン

- 幼小接続
- スタートカリキュラム

小中接続

カリキュラムマネジメント

他教科との関連

教科横断的に取り組む課題

授業支援

ICT活用 デジタルコンテンツ

デジタル教科書

教師用指導書

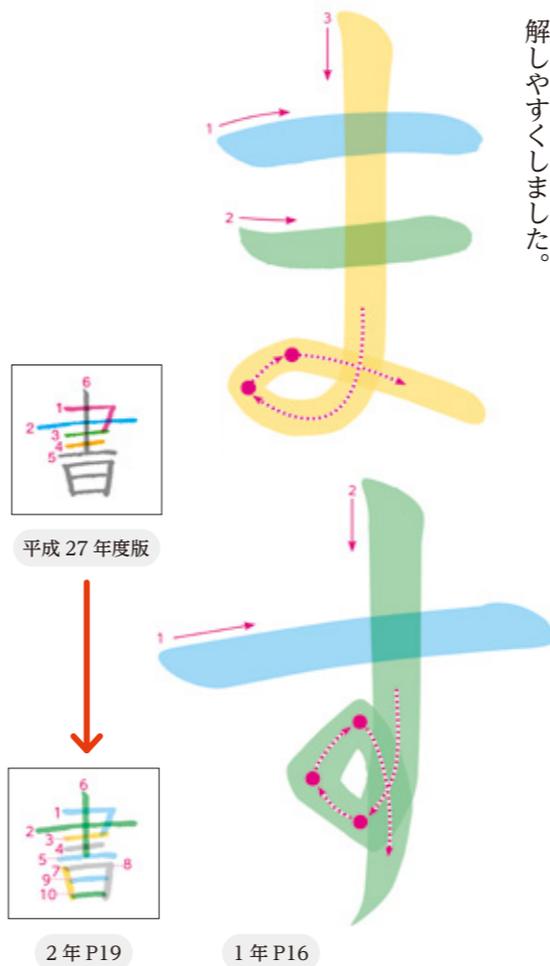
全ての子供に「分かったー!」「できたー!」の喜びを。

特別な教育的ニーズのある子供に分かりやすく工夫した紙面は、特性の有無に関わらず誰もが学びやすい、東京書籍がめざすのはそんな教科書です。左利きの子供にとっての学びやすさにも向き合いました。

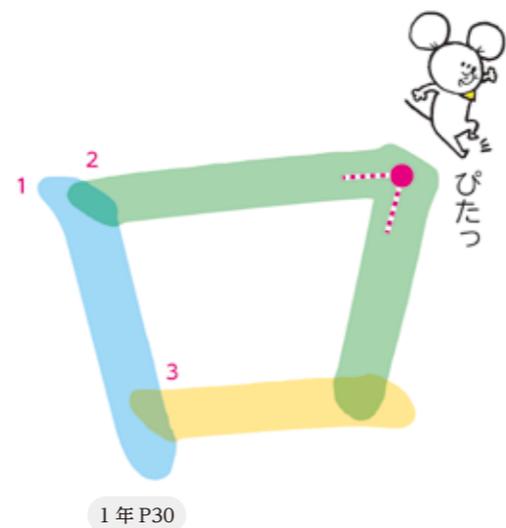
特別支援教育への配慮

「どこまでを一画で書くの?」に応える文字の開発

特別支援教育を要する子供の中には、**文字を書く過程を再生**することが困難で、例えば、「す」が「十」「〇」「ノ」の組み合わせに見えるという子がいます。点画を分解し、それぞれ色を変えることで、**どこまでを一筆で書くものなのか**を理解しやすくなりました。

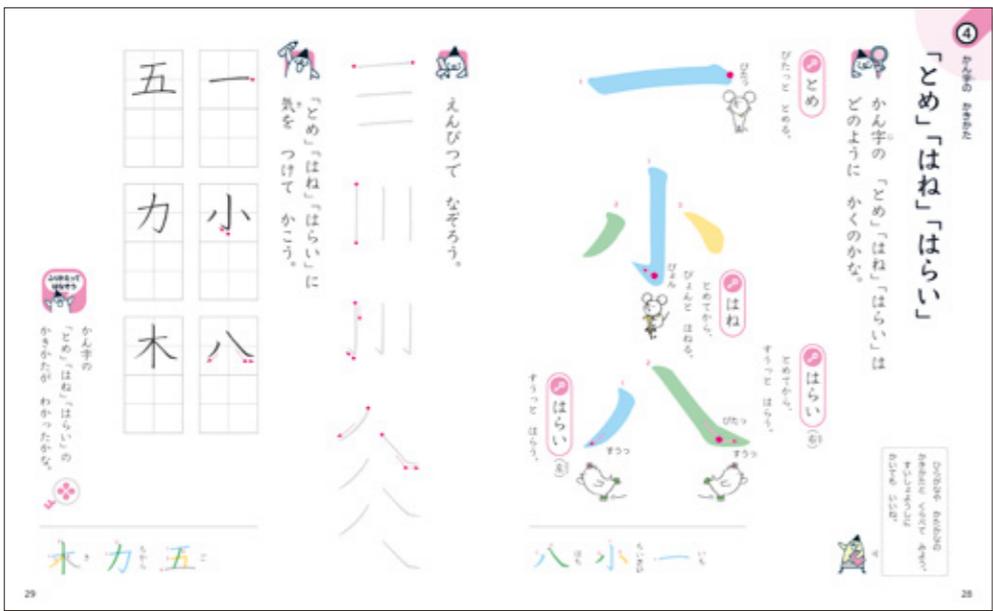


目で見て、指でなぞって、声に出して。一人一人に合った多様な学習方法
記号などで視覚化する、動作を取り入れる、「すうっ」「びたっ」と声に出す、**理解しやすい方法は子供によってさまざま**です。
擬態語やキャラクターの動き、記号などを用い、**多感覚に働きかける**ことで、子供たちがそれぞれの特性に合った方法で理解を図れるようになりました。



すっきりした紙面

イラストや図版に使う**色の数や分量を制限**することで、学習に集中できるようにしました。



教材文字に集中できる

「毛筆教材の周りに、イラストなどほかの要素があると集中できない子がいる」との現場の先生方の声を受け、**毛筆教材文字の周囲には他の要素は置かず**、毛筆教材文字+書写用語の確認のインデックスのみで構成しています。



毛筆教材だけを原寸大で示すことも可能です。

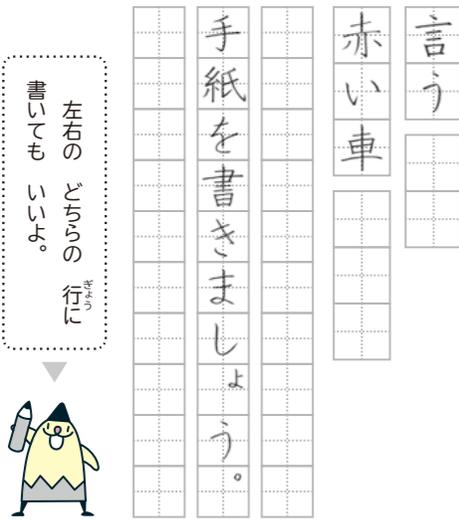
- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の 明確化
- 学習の系統性の 重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサル デザイン
- 幼小接続
- スタート カリキュラム
- 小中接続
- カリキュラム マネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に 取り組む課題
- 授業支援
- ICT 活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の 明確化
- 学習の系統性の 重視
- 国語との連携
- 文字文化

特別支援教育

ユニバーサルデザイン

- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書



2年P19

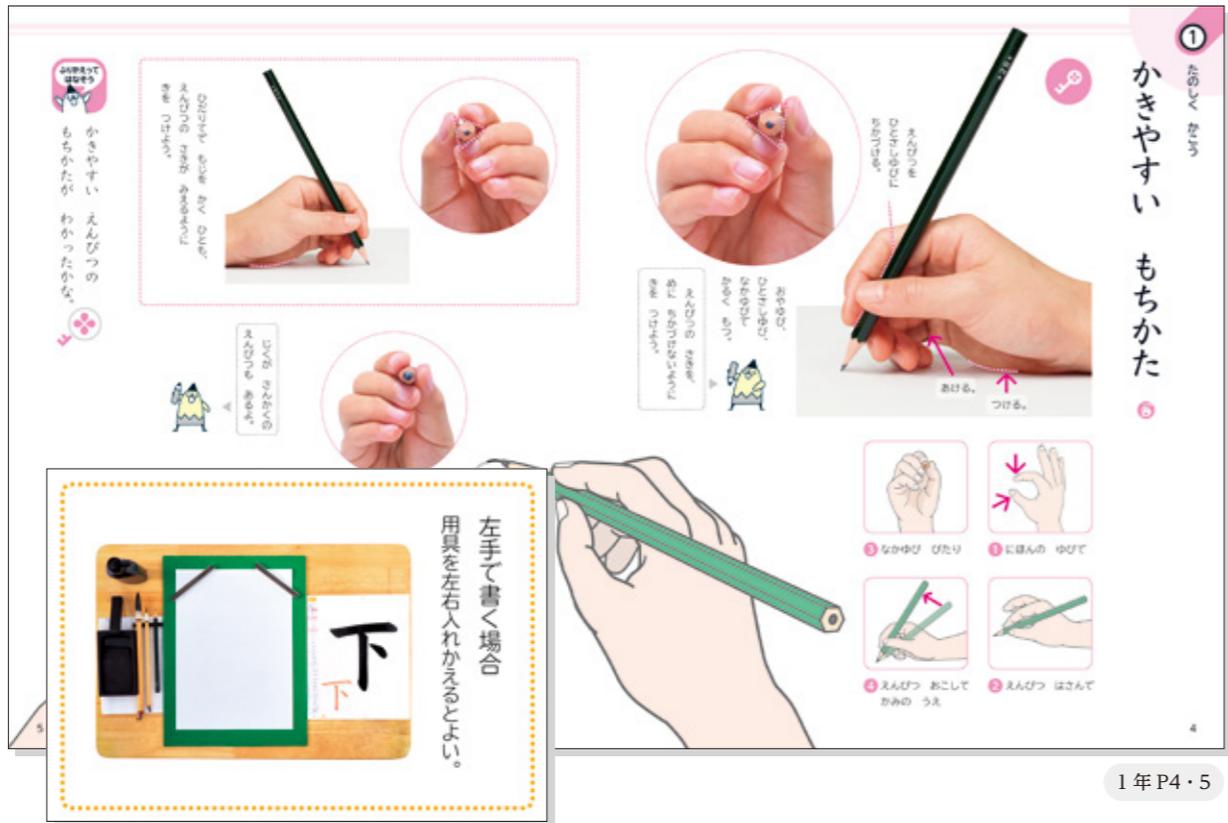
左に教材文字、右に書き込み欄。教科書によくある配置ですが、左利きの子供の場合、書くときに手で教材文字が隠れてしまいます。『新しい書写』は、教材文字と書き込み欄を上下に配置したり、書き込み欄を左右両方に配置したりして、**利き手に関わらず教材文字が見えやすい工夫**をしています。

書き込み欄の配置も工夫

右利きの持ち方の写真のみが掲載されていたこれまでの教科書では、左利きの子供たちは写真の頭の中で反転させて、それを自分の手指で再現しなければなりません。そこで、**左利きの写真を載せることで不要な負担をなくす**よう配慮しました。

右手・左手どちらの持ち方も掲載

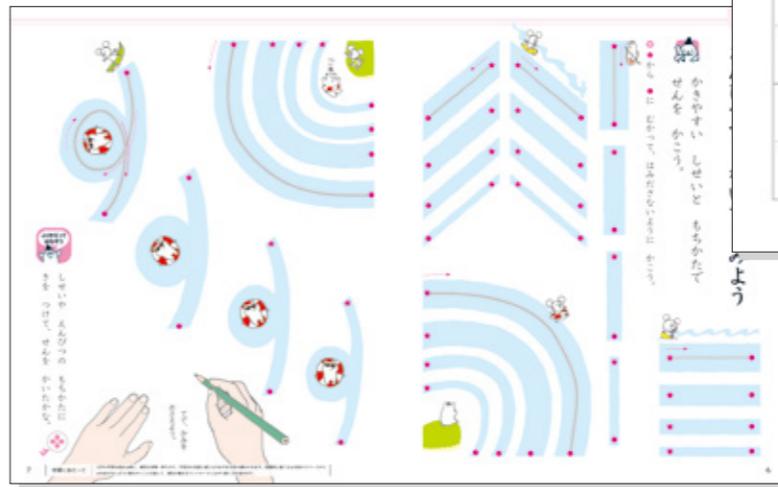
左利きへの配慮



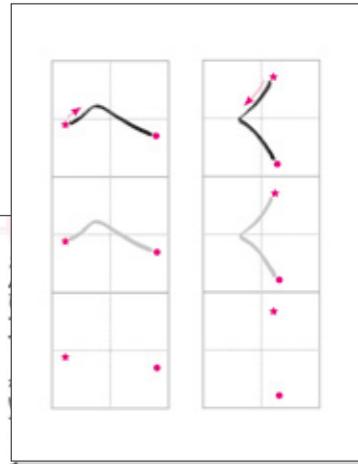
1年P4・5

3年P5

文字を書く前段階の線の練習では、**段階的に細かい動きができる**ように導いていきます。なぞり書きに比べて、子供たちは気持ちに余裕をもって取り組むことができます。



1年P6・7



1年P9

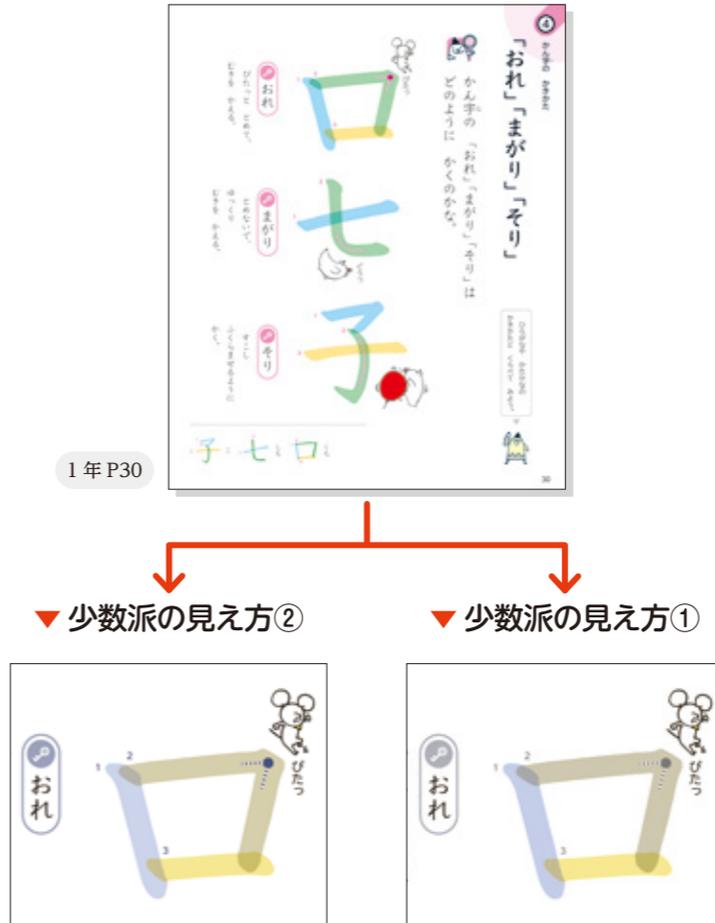
一年生の五月までの教材は、**スモールステップ**を意識し、不要なつまづきを起ささないよう配慮しました。書き始め★と書き終わり●の記号は字形を捉える手がかりとなり、**空間認識に困難を抱える子供の理解にも有効**です。

全員が達成感を味わえるスモールステップ

色覚多様性への配慮

誰もが見やすい、分かりやすい

カラーユニバーサルデザインの観点から、配色・デザインについて全ページにわたって、専門家による検証を受けています。



1年P30

水書を使って楽しく、分かりやすく。



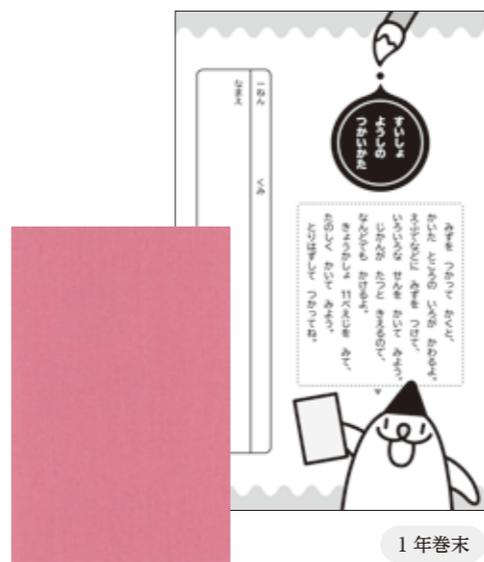
子供は「非日常」が大好きです。新しい道具「水書用筆」と「水書用紙」を使うことで、「子供の「書いてみたい!」を引き出します。水書用筆で運筆を体感することで、硬筆での適切な書字動作が身につくことが期待できます。」



「ぴたっ」と止める動きと、「払い」のすうっと力を抜く動きの違いが、鉛筆よりもよく分かったよ。



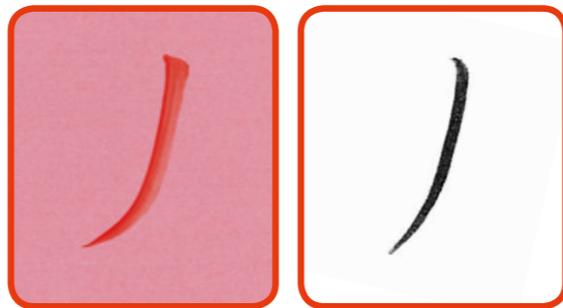
一・二年生全員に水書用紙
「水書を取り入れてみたいけれど、全員分を用意するのは難しい!」そんな声にこたえて、**一・二年生の教科書の巻末に、水書用紙をつけました。** はがしやすい特殊な糊を用いているので、低学年の子供でも無理なくはぎ取ることができます。裏面には記名欄があり、**はがした後、管理も容易**です。約五百回繰り返し使用でき、**耐久性**にも優れています。
また、教師用指導書には付属の水書セットを企画中です。(↓24ページ参照)



「水書」とは何でしょう? どんな効果があるのでしょうか?

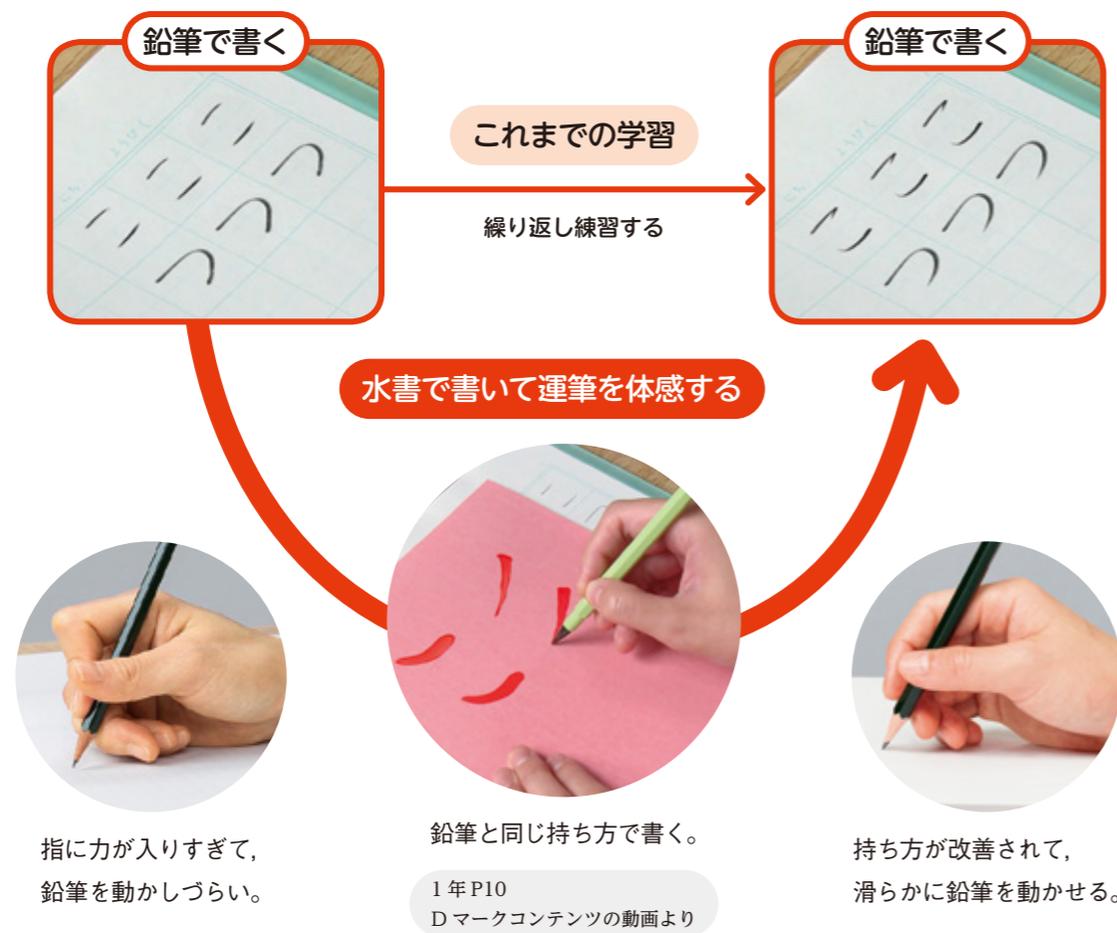
新学習指導要領(平成29年告示)の解説において、小学校1・2年生の運筆能力を向上させる工夫として水書用筆等を使用した指導が明記されました。

水書用筆は、柔軟性と弾力性に富んでいるため、特に、「はね」や「払い」などの筆圧の変化を伴う運筆で、手指の動きを体感しやすくなります。また、水書用筆は、筆圧をかけなくても線がかかるため、指に力が入って鉛筆の軸を握り込むといった**持ち方を改善**することが期待できます。



水書用筆と鉛筆での線の違い

例えば、「止め」と「払い」を学習するとき



知識及び技能

● 思考力、判断力、表現力等

● 学びに向かう力、人間性等

● 主体的・対話的で深い学び

● 見方・考え方 資質・能力

● 学習過程の明確化

● 学習の系統性の重視

● 国語との連携

● 文字文化

● 特別支援教育

● ユニバーサルデザイン

● 幼小接続

● スタートカリキュラム

● 小中接続

● カリキュラムマネジメント

● 他教科との関連

● 教科横断的に取り組む課題

● 授業支援

● ICT活用 デジタルコンテンツ

● デジタル教科書

● 教師用指導書

伝統と文化を

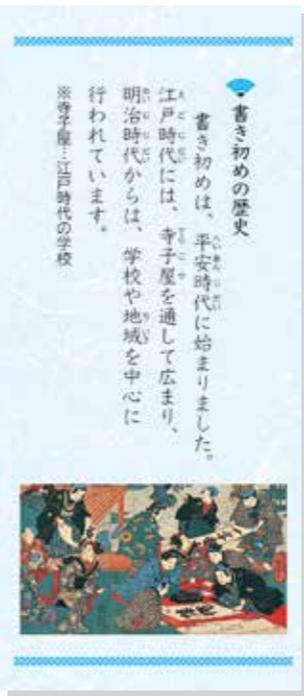
大切にすることを育みます。

すつと背筋を伸ばして文字を書き、古来より伝わる文章を味わう。広い視野で現代に生きる文字について考える。伝統を引き継ぎ、これからの文字文化の担い手となる子供たちには、そんな時間も大切です。

我が国の伝統的な言語文化に関する言葉や文章を書いて味わう

全学年に、童謡や俳句・短歌、古文などをなぞり書きする活動を設定しました。国語では「声に出して味わう」ことを、**書写では書いて味わう」ことを目的として、連動を図っています。**

三年生以上の書き初め教材では、書き初めの歴史を紹介し、**伝統文化を意識**できるようにしました。



6年 P27



3年 P36

文字の世界を広げて

知的好奇心を刺激する「文字のいずみ」

漢字や仮名の成り立ち、世界の文字、文字に込めた人々の思いなど、**子供たちが興味をもつ文字文化コラム**を全学年に掲載しました。



2年 P30

世界の文字いろいろ

英語のラテン文字

英語は、世界で最も多くの国で使われている言語です。全部で二十六文字で、大文字と小文字があります。



中国語の漢字

中国語は、世界で最も使用人口が多い言語で、約十億人が使っています。中国語の漢字の中には、日本語で使う漢字とは字形がちがうものがあります。

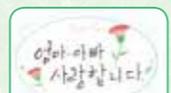


飛 ↑ ↓ 飛

中国語は、世界で最も使用人口が多い言語で、約十億人が使っています。中国語の漢字の中には、日本語で使う漢字とは字形がちがうものがあります。

韓国・朝鮮語のハングル文字

日本語で使われるローマ字のように、母音と子音を組み合わせる文字を作ります。



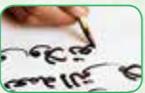
ヒンディー語のデーハナーリ文字

ヒンディー語はインドの公用語です。およそ五億人が使っています。文字にある横の線が特徴的で、言葉ごとに、この線をつなきます。



アラビア語のカタナ文字

アラビア語は横書きで、読む向きも書く向きも、右から左に進みます。文字は、単語の中の位置によって、字形が変わります。



ロシア語のキリル文字

全部で三十三文字で、大文字と小文字があります。



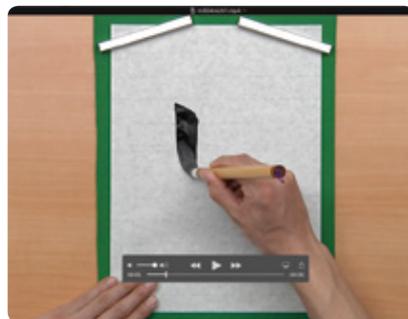
5年 P38-39

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化

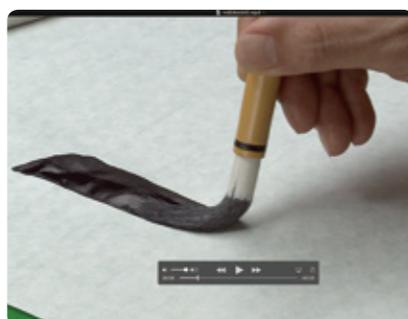
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 🔑 授業支援
- 🔑 ICT活用 デジタルコンテンツ
- 🔑 デジタル教科書
- 🔑 教師用指導書

教師用指導書の「資料編付属DVD-ROM」には、Dマークコンテンツも含め、**授業に役立つ動画**がさらに豊富に収録されています。目的に合わせてご使用ください。



▶ 墨で書く
(書き手の視点から)



▶ 墨で書く
(手元のアップ)



▶ 朱墨で書く
(書き手の視点から)



▶ 朱墨で書く
(手元のアップ)



自分の文字に自信がない。だから書写の授業が苦手。そんな声を耳にします。演示は授業のほんの一部です。便利なツールをご利用ください。実演をデジタルコンテンツに任せることで、子供を支援する時間が生まれます。

子供たちの前で、毛筆の実演が できなければと思っ ていませんか。

教科書を使う全ての人が利用できる
教材文字の運筆動画

教科書のDマークのあるページでは、インターネットを使った学習ができるようになっていきます。書く姿勢や筆記具の持ち方、水書を用いた学習、毛筆で教材文字を書いている動画などを、解説付きで見ることが出来ます。プロジェクトに映して一斉に空書きをしたり、各自がタブレットで繰り返し見たり、また、家庭で使用することも可能です。

コンテンツの1覧や
実際の動画は22ページを
ご覧ください。

Dマークコンテンツ
がある箇所には、この
マークがあります。
(学年によって色が異
なります。)



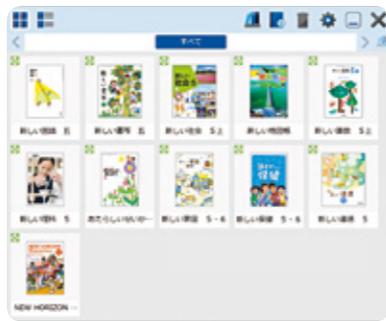
3年 P22-23



- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の 明確化
- 学習の系統性の 重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサル デザイン
- 幼小接続
- スタート カリキュラム
- 小中接続
- カリキュラム マネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に 取り組む課題
- 授業支援
- ICT 活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

ペンツールでメモを残したり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。自分の学習記録を残すことで、子供たち一人一人の教科書が作れます。また、総ルビ・分かち書きの表示により、外国人児童や帰国児童など日本語の読みが苦手な子供たちへの対応としても有用です。

ポイント② ▼ 学習を支える便利な機能



東京書籍をはじめ複数の発行者が採用するビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科・教材を一つのビューアで管理できます。

ポイント① ▼ 複数の教科を一括管理

「新しい書写」学習者用デジタル教科書の主な特徴

法改正により、紙の教科書と併用で文部科学省が認める学習者用デジタル教科書（紙の教科書と内容が同一であるもの）を使用することが可能になりました。東京書籍は、2年度用小学校教科書の発行全書目で学習者用デジタル教科書を発行します。

「学習者用デジタル教科書」のご案内

ポイント③ ▼ Dマークコンテンツ

Dマークをクリックするだけで、学習に役立つデジタルコンテンツを表示することができます。



1年 P11



デジタル教科書を紹介するウェブページに、こちらからアクセスできます。



https://www.tokyo-shoseki.co.jp/ict/dkyokasho_el/

▼ Dマークコンテンツ一覧

学年	ページ	コンテンツ名
1年	P2	もじをかくしせい
	P2	しよしゃたいそう
	P4	かきやすいもちかた
2年	P11	いろいろなどうぐをつかってかいてみよう
	P4	文字を書きしせい
	P4	しよしゃたいそう
	P6	書きやすいもち方
3年	P14	いろいろな道具をつかって書いてみよう
	P12	「横画」の書き方 〈一〉
	P14	「たて画」と「点」の書き方 〈下〉
	P16	「おれ」の書き方 〈日〉
	P22	「はらい」の書き方 〈人〉
	P24	「結び」の書き方
	P24	「反り」の書き方
	P29	書きぞめをしよう 〈正月〉
	P32	ひらがなの書き方 〈つり〉
	P39	三年生のまとめ 〈水〉

学年	ページ	コンテンツ名
4年	P10	画の長さの間かく 〈羊〉
	P12	画の方向(左はらい) 〈麦〉
	P14	筆順と字形 〈左右〉
	P16	組み立て方(左右の部分) 〈土地〉
	P20	組み立て方(上下の部分) 〈竹笛〉
	P27	書きぞめをしよう 〈平和〉
5年	P30	ひらがな(折れ・折り返し) 〈わざ〉
	P37	四年生のまとめ 〈手話〉
	P10	組み立て方(による) 〈道〉
	P10	しんによるの書き方
	P12	漢字どうしの大きさ 〈白馬〉
	P18	ひらがな(点画のつながり) 〈きずな〉
	P19	「結び」の書き方 〈す〉
	P19	「結び」の書き方 〈な〉
	P20	点画のつながりと接し方 〈成長〉
	P27	書きぞめをしよう 〈出発〉
6年	P30	行の中心(小筆) 〈雪とけて村一ぱいの子どもかな〉
	P35	五年生のまとめ 〈星ふる町〉

学年	ページ	コンテンツ名
6年	P10	組み立て方(三つの部分) 〈湖〉
	P12	点画のつながり 〈旅行〉
	P18	用紙に合った文字の大きさ 〈中秋の名月〉
	P20	ひらがな(文字と文字のつながり) 〈あられ〉
	P21	「曲がり」(大回り)の書き方 〈あ〉
	P27	書き初めをしよう 〈希望〉
3年～6年 共通	P30	文字の大きさと配列(小筆) 〈「海のいのち」より〉
	P35	六年生のまとめ 〈新たな世界〉
		用具の置き方
		筆の準備
		墨のすり方
	小筆の持ち方	
	文字を書く姿勢(毛筆)	
	筆の持ち方(二本がけ)	
	筆の持ち方(一本がけ)	
	文字を書く姿勢(鉛筆)	
	鉛筆の持ち方	
	筆のかたづけ方	



▲ 全学年共通：文字を書く姿勢(鉛筆)



▲ 3～6年共通：筆のかたづけ方

実際にお試しください!



1年



2年



3年



4年



5年



6年

教師用指導書や

準拠教材で授業をサポートします。

教師用指導書

充実した内容でさまざまな授業場面に対応

動画や資料を収録したDVD-ROMや練習用紙のほか、水書用筆と水書用紙のセット(低学年)や、教室に貼って使える掲示資料などを新たにご用意します。授業の展開が一目で分かる板書例も掲載します。

一・二年

【指導編】

- ＜冊子＞
- 朱書
- 指導案
- 書写指導に役立つ解説資料



【資料編】

- ＜冊子＞
- 練習用ワークシート
- 新出漢字学習シート
- ＜DVD-ROM＞
- 指導者用デジタルブック
- Dマークコンテンツ
- 教科書教材に即した動画
- 資料編冊子の印刷用データファイル
- 教科書紙面の総ルビ・分かち書きPDFファイル

NEW **NEW**

＜掲示資料＞

- 書く姿勢・筆記具の持ち方
- 平仮名表・片仮名表・学年漢字表

＜水書セット＞

水書用紙
水書用筆



掲示資料

水書用紙は教科書に付いているものと同じなので、予備としてもお使いいただけます。



水書セット



※これらの商品は企画中のため、内容・仕様ともに予告なく変更になる場合があります。

三～六年

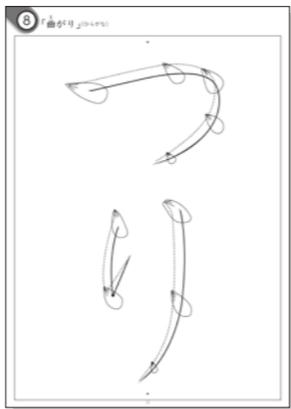
【指導編】

- ＜冊子＞
- 朱書
- 指導案
- 書写指導に役立つ解説資料

【資料編】

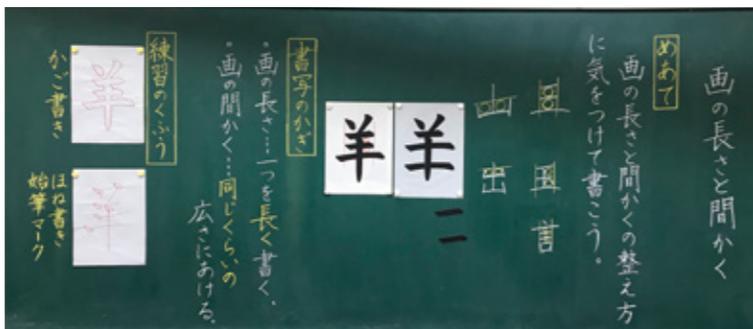
- ＜冊子＞
- 毛筆半紙大資料
- 硬筆練習用ワークシート
- ＜DVD-ROM＞
- 指導者用デジタルブック
- Dマークコンテンツ
- 教科書教材に即した動画
- 新出漢字学習シート
- 資料編冊子の印刷用データファイル
- 教科書紙面の総ルビ・分かち書きPDFファイル

指導編(朱書・指導案)



資料編(毛筆半紙大資料)

指導編(板書例)



学習教材

●書写練習帳

一・二年 各二冊
三～六年 各一冊
(教科書完全準拠)

整った手書き文字を使って練習を。

教科書と同じ執筆者による手書き文字。東京書籍ならではの教科書完全準拠の練習帳です。文字の練習だけでなく、「書写のかぎ」を書き込んだり、振り返りの内容を書き込んだり、書写の知識を定着させる工夫が満載です。

教科書と同じ書き文字、同じマークを使っています。筆順の色分けも教科書と同じです。



NEW

＜掲示資料＞

- 書く姿勢・筆記具の持ち方
- 用具の置き方
- 学年漢字表



- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方 資質・能力
- 学習過程の明確化
- 学習の系統性の重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサルデザイン
- 幼小接続
- スタートカリキュラム
- 小中接続
- カリキュラムマネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用 デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書